

平成 21 年 3 月 11 日

微量全血による低濃度領域(0.01 ~ 4.00 mg / dL)の CRP 測定を ベッドサイドで可能にした 「バナリストエース hsCRP」を新発売

株式会社三和化学研究所(本社 / 名古屋、代表取締役社長 / 山本一雄、スズケングループ)は、微量全血にて、簡易に低濃度領域の CRP 値(C-reactive protein:C 反応性蛋白)を迅速に測定できる C 反応性蛋白キット「バナリストエース hsCRP」を平成 21 年 3 月 18 日より新発売いたしますのでお知らせします。

本製品は、従来の測定法と比べ、微量全血で低濃度領域(0.01 ~ 4.00 mg / dL)の測定がベッドサイドで可能になりました。特に低出生体重児(出生時体重が 2,500g未滿)をはじめとする新生児では、採血が大きな負担となるため、このたび微量全血で CRP 値を測定することが可能になったことから、新生児への負担をより小さくすることが可能になりました。

現在、低濃度領域の CRP は主に検査室の大型自動分析装置で測定されているため、採血量、検体の搬送、測定の迅速性等に課題がありますが、本製品はそれらを大幅に改善させたベッドサイドで測定が可能になった、世界初の定量システムで、新生児の負担を大幅に軽減し、QOL(生活の質)の改善に貢献できるものと確信しております。

当社は、昨年 10 月に、ローム株式会社・ウシオ電機株式会社とともに、世界初、液体試薬使用の μ TAS(マイクロタス)測定チップを使った微量血液検査システム「バナリスト[®]エース」と「バナリストエースCRP」を発売し、このたび第二弾として、低濃度領域測定に特化した本製品を販売することになりました。

CRP は、急性炎症や身体組織の崩壊が認められるような病態時に鋭敏に反応し、血液中で著増を示すことから、現在その測定は欠くことができない検査の一つです。炎症性疾患などで高値を示し、感染症の早期判断や抗菌薬の投与、治療効果判定に有用です。

特に、低濃度領域の CRP は、低出生体重児等における感染症のモニタリングには欠かせない検査項目です。

【本製品の概要】

- ・発 売 日:平成 21 年 3 月 18 日
- ・価 格:10 回用 3,780 円(税込み)
- ・測 定 時 間:約 7 分 30 秒
- ・検 体 の 種 類:全血、血清、血漿
- ・検 体 量:約 9.5 μ L
- ・測 定 範 囲:0.01 ~ 4.00mg / dL
- ・検体不足検知:有

<お問合せ先>

株式会社三和化学研究所 経営企画部広報室 TEL 03 - 3232 - 2601